

再生可能エネルギーに関する検討会についての委員意見のまとめ

1. 議論の対象とする再生可能エネルギーについて			
①太陽光発電	②太陽熱利用	③風力発電（陸上）	風力発電（洋上）
<u>8名</u> 津田座長 舟橋委員 三谷委員 野口委員 小林委員 服部委員 長田委員 吉田委員	<u>1名</u> 吉田委員	<u>4名</u> 舟橋委員 三谷委員 野口委員 長田委員	<u>6名</u> 平畑副座長 廣委員 三谷委員 野口委員 小林委員 長田委員
⑤バイオマス発電・熱利用	⑥中小水力発電	⑦その他	
<u>1名</u> 野口委員	<u>3名</u> 三谷委員 服部委員 長田委員	<u>3名</u> 津田座長（蓄電池の普及） 三谷委員（航空燃料の廃油利用） 野口委員（小型原子力）	

2. 再生可能エネルギー導入に当たっての課題

【太陽光発電】

- ・ 現在も森林（自然）を壊して太陽光発電が進められている。地域住民の理解なく設置されているため住民への反発は大きい。また、いったん設置されると何十年何百年先の自然環境が戻らないこと、生物多様性、水環境、防災の観点からも問題ありと考える。（津田座長）
- ・ 太陽光発電パネルの廃棄処理問題（舟橋委員）
- ・ 太陽光等の無秩序な開発による環境破壊対策（小林委員）
- ・ 再エネ発電装置を建設・組立する際に大きなエネルギーを使い、貴重な資源を消費すること（ソーラーパネル等）。耐用年数を過ぎた後の廃棄物処理。（吉田委員）
- ・ 残土処理上の上にソーラーパネルを設置し、地すべり等の災害が発生すること。（吉田委員）

【風力発電（陸上）】

- ・ 陸上風力発電設置に対する規制法との関係（舟橋委員）

【風力発電（洋上）】

- ・ 三重県では、陸上風力を拡大するには、各種団体の反対が想定されるので、海上風力に特化した研究調査が実効性が高いと考えている。しかし、漁業者との調整に配慮する必要がある。（平畑副座長）
- ・ 漁協との協力体制（廣委員）

【その他（再生可能エネルギー全般に関すること等）】

- ・ 蓄電池が普及することによって、もっと効率的なエネルギー供給ができるため、その後押しとなる研究、調査（津田座長）
- ・ 技術開発、コストの低減化、生活環境との調和（三谷委員）
- ・ 行うことによって生じる問題（環境破壊その他）（野口委員）
- ・ エネルギー自給率と持続的供給量の確保（小林委員）
- ・ 技術革新と産業育成等（市場規模等）（小林委員）
- ・ 再生可能エネルギー設置における立地場所の環境を調査し、周辺に及ぼす環境破壊等を重要視すべきと考えます。森林伐採及び住宅地域に隣接する大規模施設の災害影響が課題！（服部委員）
- ・ 住民との意見調整（長田委員）
- ・ みだりに自然環境を破壊して、再エネ発電機構を建設すること。（吉田委員）
- ・ 環境と共生し真に持続可能な再エネにすること。（吉田委員）

3. 課題解決に向けて、調査したい事項

【太陽光発電】

- ・太陽光発電開発に係る現地調査（小林委員）
- ・太陽光発電を調査（服部委員）

【風力発電（洋上）】

- ・他の自治体や海外の設置状況を十分、調査すること。設置においては、津波なども考慮した構造とすること等が必要。前述の内容について、調査すべきと考える。（平畑副座長）
- ・洋上風力の調査（小林委員）

【その他（現地視察等）】

- ・現地視察、住民との意見交換（津田座長）
- ・先進地の調査（廣委員）
- ・先進企業視察（舟橋委員）
- ・現地確認（野口委員）

【その他（事例の調査等）】

- ・先進地への調査（宮城県、岡山県美作市、法定外目的税、法定外普通税）適切な立地場所への誘導策（津田座長）
- ・糸プロジェクト（愛媛県）太陽光、蓄電池を活用した街づくり（津田座長）
- ・ゼロエミッションとの関連（三谷委員）
- ・建物の屋根や屋上にソーラーパネルを設置することを法律・条例にさだめているドイツやスイスの事例。（吉田委員）
- ・エネルギーの地産地消について（岡山県真庭市）…エネルギー自給率60%超（吉田委員）

【その他（規制・ガイドラインの調査等）】

- ・規制省庁聞きとり（舟橋委員）
- ・ガイドライン等の内容について（長田委員）